



NPO法人 あすみが丘国際交流

Newsletter

NPO 法人あすみが丘国際交流 No.76 2018.10.11 発行 会員数 901 名(2018.03.01 現在))

住所 〒267-0066 千葉市緑区あすみが丘4-1-6 エクレール土気 101
TEL/FAX : 043-294-9551 E-mail : aifs@eastcom.ne.jp
Asumigaoka International Friendship Society = AIFS (アイフス)
<https://www.npo-aifs.org/> <http://aifs.cocolog-nifty.com/blog/>

会員の皆様への重要なお知らせ

総会は 2019年1月27日 (日) 10:00~12:00 @土気高校 第1会議室(2階) となります。
駐車スペースが狭く、なるべく一台に複数人で同乗をお願いします。
なお、新理事・監事への立候補届は2018年12月29日までをお願いします。

ホームビジット報告

西井 有子

7/22(日曜日)猛暑の中、ロシアから3人、フランスから1人(日本語勉強のために1か月留学中)ホームビジットに来てくれました。彼女たちは初めての日本の暑さ(今年は特別!)に驚いていましたが、それ以上に日本が大好きで言語・文化・日本食に興味津々でした。

ランチはカレーライス、サンドイッチを「美味しい!」と言って食べてくれて、書道~折り紙~浴衣を喜んで楽しそうに体験しました。折り紙は逆にロシア人の女の子に可愛いウサギの作り方をみんなで教えてもらいました。

日本人からのQ:日本に来て一番驚いたことは何?

A1:どこもきれい!(清潔)

ゴミの分別がされていて素晴らしい。ロシアは全部一緒(ビンも缶も生ごみも)に捨てる。

A2:交番のおまわりさんが親切!ロシアは違う。

A3:とても安全(治安が良い)

留学生たちの日本愛を聞いて、私は日本の優しさ・美しさに気づかされ嬉しかったです。

日本語があまり話せなかったのですが、心と心の交流に全くそんなことは関係ありません。

一緒に食事をして、書道、折り紙をしてカスミでプリクラを撮るころには(機械操作は日本の女子高生にすべて助けてもらいました。)大盛り上がりになり楽しく心地の良い時間をみんなで共有していました。

留学生のみんなにとってこの“ホームビジット”が楽しい日本の思い出のひとつに加わってくれたら嬉しいです。

貴重な機会を与えて下さったあすみが丘国際交流のスタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。
ありがとうございました。



4丁目 丸田 & いわた にこ(9才)

炎天下の中、ロシア人女性2人、韓国人女性1人を我が家にお迎えしました。

大らかなロシア女性、繊細な韓国女性が第一印象でした。お互いの緊張感をほぐすために、先ず早めのランチタイムにしました。冷やしソーメン、ぬか漬け、稲荷寿司に興味を持ち完食。

会話は、ゆっくり易しい日本語で話し、日本の文化に興味があると解り、食後はひらがなことわざかるたを楽しみ、百人一首にも挑戦。先ずは坊主めぐりで遊び、正式に近いルールで行い、すこぶる真剣でした。久しぶりの読人の私も声がかすれてしまう程でした。

川脇さんのヘルプで、浴衣の着付け、書道体験をしました。

「愛」という難しい漢字にも挑戦、お上手でビックリ。

滞在時間の終了が近づくとつれ逆に話が弾み、「将来の夢は？」の問いに、3人共教師になりたいと。特にロシア人2人は日本語の先生になりたいとの答えに感動しました。ポーフレンドの事、今流行の音楽の事など盛り上がり話も尽きませんでした。また日本に来たいですかの問いに、皆さん「はい」との返事に安堵しました。

短時間でしたが、夢多き若人たちと触れ合い、新鮮な気持ち、希望、勇気のプレゼントに、ようこそ我が家への気持ちで一杯になりました。

思い出深いひと夏が増え、とても幸せな気持ちです。暫く余韻を楽しんでおりました。AIFSのスタッフの方々に感謝申し上げます。有難うございました。



理事 金子和弘

7月16日(月) 海の日

9時半に土気駅集合。5名の留学生をピックアップして自宅へ向かう。娘の友人2名を加え5名で留学生を迎える。

簡単な自己紹介を行い、各自パートに分かれ、バーベキューパーティーの準備を行う。

食材のごしらえは女性陣で分担。男性3名は炭の火おこしからスタートする。

暑い中での火おこしは大変だったが、台湾のYさん、中国のTさんと私の3人で無事炭に火を入れることが出来た。(男の役目はほぼ完了)

女性陣はロシアのBさん、Aさん、中国のKさんを囲みながら、7名で楽しく食材の準備を行っていた。

11時過ぎから日差しが強い中、テーブルを囲みながらバーベキューを味わっていた。

食べることと飲むことは言葉が通じなくても理解が深まることを改めて発見した。

庭が日差しが強いので14時過ぎにバーベキュー終了、家の中でアイスを食べながら雑談。若者はアドレス交換を行ったり、インスタグラム向けの写真を撮ったりしていた。

その後、大網白里海岸までドライブ。

海岸では自然にそれぞれ2人ずつに分かれ散策。

17時に土気駅にて解散。

ホストからひと言

留学生も20代前半までの若い人が中心だったので、年代に近い娘やその友人に助けられた。

言葉は通じにくかったが、一緒に食事の支度を行ったり、炭に火を付けたりすることで非言語的な行為から相手を考えていることを理解することが出来た。

これからも機会があればホームビジット受け入れを続けていきたい。

次回はグーグル等の翻訳機も積極的に活用して言語の壁にも挑戦していきたい。



くらしのほんごくらぶの活動報告

現在アメリカ、イタリア、タイ、スリランカ、中国などの在日外国人に、会員ボランティア6名が、日本語学習、生活支援など地域に密着した活動を行っています。

土気高校での国際交流報告（留学生の土気高校訪問記）

理事 小林芳樹

実施日：2018年8月24日 午前10時～午後4時30分

参加者：双葉外語学校 8名（ロシア、スリランカ、タイ、ベトナム、フィリッピン）

3H日本語学校 10名（バングラデシュ、スリランカ、ネパール、モンゴル、
ベトナム、ミャンマー、インドネシア、ベトナム、中国、韓国）

県立土気高校 90名（工芸部 8名、茶道部 15名、ギター部 15名、バレーボ
ール部 13名、吹奏楽部 17名、英語科 10名、生徒会 4名、
先生方 8名）

AIFS 7名（理事2名、会員5名）



今年は、市内にある日本語学校の留学生18名に参加頂きました。多くは日本の大学入学や日本企業に就職を目指す若者達で僅かな母国からの仕送りとアルバイトで自活する苦学生です。

朝10時に土気駅に到着した留学生達は順次ボランティアの車に分乗し土気高校正門に到着。特別教室に案内され、土気高校側の歓迎挨拶に続き、英語科、生徒会の代表や先生方を前に一人ずつ日本語で自己紹介。いずれも流暢な日本語に日本人は全員がびっくり。

まず最初に工芸部のろくろ作業や陶芸作品を鑑賞。高校生の作品とは思えないシブイ仕上がりに感激。記念に生徒が心を込めて作った湯飲み茶わんを各人がもらいました。

次に訪れた茶道部では着物を着た生徒からお点前の作法の説明を受け、各人が抹茶とお茶受けの和菓子を頂きました。多くの留学生は慣れない正座に苦労していました。

昼食をはさんで訪れたのは、(クラシック)ギター部と吹奏楽部の見事な演奏。特に吹奏楽部は関東大会でも上位入賞する程の腕前。その一糸乱れぬ演奏と迫力には一同感激。

返礼としてインドネシア人のウェンディ嬢がアンジェラ・アキの「手紙～拝啓十五の君へ」を熱唱。今度は土気高の生徒達がうっとり聴き入っていました。

部活見学の締めくくりは、留学生と土気高校生徒達の親睦・交流会。すっかり打ち解けた雰囲気の中、思い思いの感想や、それぞれの国との違いを意見交換。スマホ写真撮影や後日また連絡がとれるようにメールアドレスを交換するシーンが随所に見られました。

今回は、アジアの途上国からの留学生が多く、豊かな国の日本社会に生まれ育った土気高校の生徒さん達には苦学生との意見交換は大いに刺激になったようです。



編集後記

今夏・秋は、日本国内で、豪雨、地震、台風などの災害が多く、とても冷静になれない、例年のない慌ただしい季節でした。その中で、なんとか、編集をまとめました。完璧でないことをあしからず。(By Dr. Obata)

会員各位へのお願い

現在、AIFS 会報誌「ニュースレター」は会員の有志の方々により配布されていますが、高齢化により難しくなりつつあります。

少しでも状況を改善するという意味で、ネットへの移行をお願いしてきました。結果として 901 名の会員のうち 67 名が紙の配布を不要として登録していただき、メールの登録は 178 名となっています。メールやホームページで見ただけであればカラーですし、速報性もあります。もっと多くの会員がネットでご満足いただけるのではないかと推定しています。配布対象が大幅に減れば、各戸配布が続けられる期間を延ばすことができることでしょうか。

また、紙のニュースレターは自治会の回覧にも加えてもらいましたし、今後はプラザ、スーパー、コンビニに置いてもらうことを交渉します。

本当に配布が困難になってしまう前に、可能な限りネットへの移行にご協力ください。つきましては、ニュースレターの配布について選択を改めてお聞かせください。

会員名	
メール登録 （現在、メールを受け取っている方は結構です）	
ニュースレターの配布について 選択肢に <input checked="" type="checkbox"/> 願います	<input type="checkbox"/> A. 紙による配布は不要
	<input type="checkbox"/> B. 可能な期間だけでも紙配布もほしい (いずれネットだけへの移行も可能)
	<input type="checkbox"/> C. 紙が必要

*なお、メール登録いただいている方でも AIFS からのメールが届いていない方はアドレスが古いものである可能性があります。再登録願います。

この用紙を AIFS 事務所までお届けいただくか郵送ください。

または、FAX/メールにてお届けください。

住所： 千葉市緑区あすみが丘 4 丁目 1 番地 6 エクレール土気 101

電話/FAX：043-294-9551

メールアドレス：aifs@eastcom.ne.jp

提供された個人情報等は会員へのお知らせ・連絡の目的にのみ使用し、会員の同意なくしては第三者に提供いたしません。個人情報保護規定についてはホームページをご参照ください。

ホームページ：<https://www.npo-aifs.org/>

とけサマーフェスティバルの報告

理事 金子和弘

サマフェスに参加する目的として、活動内容を広く知ってもらおうと同時に参加してみたいと思う人々を集め、国際交流活動、地域活動を更に活性化したいと考え、以下の計画を基にサマフェスに参加しました。

サマーフェスティバル参加企画案

AIFS会員が関わる活動紹介

AIFSの活動の歴史や今実際に行っている活動の紹介
⇒賛同者を集めて活動を活性化する。

アンケートコーナー
⇒地域にある施設に向き合う為のヒアリングを行う。
特に高齢者が抱える問題から、オリンピック等、幅広く声を聴く。

AIFS会員同士の親睦を深める為、サロンを開催

サマフェス会場ボランティア交流会を実施
会員の確認と会員向けアンケートの実施

準備段階では担当理事と会員有志を中心にプロジェクトが進められ、活動紹介パネル、アンケート、子供向けゲームコーナー等を準備されました。



テント内レイアウト案
(平面図)

地域活動紹介コーナー
①暮らしの日本茶クラブ
②ホームビジット紹介
③緑の森・樹語会
④その他
(会員が持つ地域活動を紹介)

スタッフ
控えテーブル

AIFS会員の為のサロン
くつろぐスペースを確保
会員交流の場

子供向けイベント
コーナー

正面通路

本番当日は心配された暑さはなく、晴天に恵まれ AIFS ブースに多くの方が訪れ、賑わいました。

又、若いボランティアも集ってもらい親子連れ等に喜んでもらえました。ただ残念なことは忙しすぎてアンケート回収まで手が回らなかったことです。そんな中でも 12 名のサポーター（仮称）を発掘することが出来ました。

今後の展開は下図にあるようにボランティア交流会を開催し、会員、サポーターの意見交換と 2020 年を見据えた活動プランを作成していきたいと考えます。



サマーフェス後の展開について

アンケート内容
サロンでの直接動話

- アンケート結果から
- 交流サロンでの会話から

有望人材の発掘

- 基本情報（氏名・連絡先）を抑える

ボランティア交流会に招待

- 交流会に参加してもらいたいことを具体的に聞き出す。

既存会員の参加を促す

ボランティア連絡会（仮称）に登録し、AIFSサポーター（仮称）として活動してもらう。



ボランティア交流会開催のお知らせ

11月18日（日）14:00～16:00 ガーデンコート会議室 B

ご参加の方は 11月15日までに以下の方法でご連絡願います。（準備がありますので）

電話/FAX: 043-294-9551（留守電もOKです） メール: aifs@eastcom.ne.jp